

INTERJUKE



本書は、SS-NT1MD およびパソコンで Net MD
の機能を使う時にお読みください。

— お買い上げありがとうございます —

△ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

- “ATRAC3”および“ATRAC3”ロゴ、“OpenMG”および**OpenMG**、“Net MD”および**NetMD**、SonicStage はソニー株式会社の商標です。
 - Microsoft、Windows、DirectXおよびWindows Media は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
 - IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
 - Pentium および MMX は、米国 Intel Corporation の登録商標です。
 - CDDDB は Gracenote の登録商標です。
 - Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDDB® Music Recognition ServiceSM. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com. Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a “Gracenote.” CD and music-related data from Gracenote CDDDB® Music Recognition ServiceSM © 2000, 2001, 2002 Gracenote. Gracenote CDDDB Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.
- CDDDB is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDDB logo and logotype, and the “Powered by Gracenote CDDDB” logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.
- Powered by DigiOn
Portion Copyright © 2002 DigiOn, Inc.
 - その他のシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
 - このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の一部または全部を、権利者の許諾を得ることなく複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、その形態を問わず著作権法上禁止されています。
 - このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
 - このソフトウェアの仕様、ならびに取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

この取扱説明書について

- この取扱説明書では、INTERJUKE の基本的な使用方法を説明しています。コンパクトコンポーネント MD システム（以降、「本体」と省略）の操作については、本体の取扱説明書をご覧ください。
- Windows XP上でINTERJUKEを使用するという前提で説明しています。ご使用のOSによっては、画面が一部異なる場合があります。
- Windowsの基本操作やパソコンの取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ヘルプについて

- INTERJUKE のさらに詳しい説明や、トラブル対処の方法などについては、ヘルプをご利用ください。メニューバーから [ヘルプ] を選ぶと、ヘルプを表示できます。

もくじ

はじめに

ページ

INTERJUKE でできること	4
音楽をパソコンに録音する	4
保存している音楽ファイルを管理・再生する	4
音楽ファイルを本体に転送する (チェックイン/チェックアウト)	4
パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)	4
著作権保護について	5
著作権保護技術「OpenMG」とは	5
OpenMG による制限事項	5
SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム)	5
HCMS (ハイスピード・コピー・マネージメント・システム)	5
INTERJUKE をインストールする	6
必要なシステム構成	6
パソコンにインストールする	7
INTERJUKE を起動する	10

画面について

ページ

画面の見方	11
INTERJUKE の画面の概要	11
プレイリスト画面	12
音楽 CD 画面	13
音楽ファイル (インポート) 画面	14
チェックイン/チェックアウト画面	15
コンポ画面 (コンポコントロール)	16
インターネット画面	17
ナビ画面	18

基本操作

ページ

音楽を録音する	19
音楽 CD の曲を録音する	19
パソコンのハードディスク上の音楽ファイルをインポートする	21
プレイリストを作成・管理する	22
新規にプレイリストを作成する	22
既存のプレイリストを編集する	23
音楽を再生する	24
プレイリストに収められている曲を再生する	24
CD-ROM ドライブやハードディスク上の音楽ファイルを再生する	25
チェックイン/チェックアウトする	27
音楽ファイルを本体に転送する (チェックアウト)	27
チェックアウトした音楽ファイルをパソコンに戻す (チェックイン)	28
パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)	29
ナビ機能を利用する	32
ナビ機能を起動する	32

ご参考

ページ

メニュー一覧	34
INTERJUKE をアンインストールする	36
Windows XP/Windows 2000 Professional の場合	36
Windows 98/Windows 98 Second Edition/Windows Me の場合	36
音楽データのバックアップ/復元 (リストア) について	37
用語解説	38
索引	39

INTERJUKE でできること

INTERJUKE では、お手持ちの音楽 CD や様々な音楽ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、パソコン上で楽しめます。ハードディスクに保存した音楽データは、パソコン上で再生したり管理できるだけでなく、本体に転送(チェックアウト)して楽しむこともできます。著作権保護技術「OpenMG」により、著作権者の利益を損なうことなく音楽データの保存・再生が可能となります。

音楽をパソコンに録音する

お手持ちの音楽 CD の曲を録音*したり、様々な音楽ファイルをインポートしてパソコンのハードディスクに保存し、OpenMG 方式の音楽ファイルを作ります。(19 ページを参照)

*本体の CD プレイヤーを使って直接パソコンのハードディスクに録音することはできません。

保存している音楽ファイルを管理・再生する

INTERJUKE で作成・保存した音楽ファイルは、アーティスト別・アルバム別・ジャンル別に分類し、管理することができます。お手持ちの音楽 CD を取り込めるので、大量の CD も整理して一括管理できます。また、お気に入りの曲を集めて再生順を自由に決め、オリジナルの「プレイリスト」として登録しておくこともできます。INTERJUKE で作成・保存した音楽ファイルをはじめ、パソコンのハードディスクなどに保存されている音楽ファイルの再生ができます。本体のスピーカーで音楽を楽しむこともできます。(22 ページを参照)

音楽ファイルを本体に転送する(チェックイン/チェックアウト)

INTERJUKE で作成・保存した音楽ファイルを本体に転送することで、お気に入りの曲を集めたオリジナルの MD を作って楽しむことができます。パソコンから音楽ファイルを転送することを「チェックアウト」と言います。チェックアウトは、音楽 CD から録音した場合は、3 回まで行えます。また、チェックアウトした音楽ファイルをパソコンに戻すことを「チェックイン」と言います。(27 ページを参照)

パソコンから本体を操作する(コンポコントロール)

INTERJUKE をインストールしたパソコンと本体を、本体に付属の USB ケーブルで接続し、本体の [PC-Net MD] ボタンを押してコンポコントロール機能をオンにすると、パソコンから本体の機能を操作することができます。(29 ページを参照)

ご注意

インストールされた INTERJUKE は、本体「SS-NT1MD」専用アプリケーションです。したがって、「SS-NT1MD」本体とのチェックイン/チェックアウトのみが保証されています。他社製の Net MD 対応機器とのチェックイン/チェックアウトについては、動作の保証はいたしません。また、その他の外部機器やメディアとのチェックイン/チェックアウトも動作保証外です。

著作権保護について

音楽は著作物であり、著作権法により保護されています。個人で楽しむ範囲内での複製は許容されていますが、著作権者（レコード会社を含む）に無断で音楽ファイルをインターネット上に公開したり、私的範囲を超えて配布・配信することは、著作権法違反となります。

INTERJUKEで作成した音楽ファイルを楽しむ際も、著作権には十分ご注意ください必要がありますが、INTERJUKEでは万全の著作権保護対策がとられています。

著作権保護技術「OpenMG」とは

OpenMG は、パソコン上で音楽ファイルを扱う際に、著作権保護の環境を作る技術です。パソコンにインストールした INTERJUKE が音楽データを暗号化してパソコンのハードディスクに記録し、著作権者の権利を侵害することなくデータ管理ができます。暗号化により、他のパソコンへのコピーやチェックアウトができなくなるので、データの不正な使用や、インターネット上への不正な配信も防止することができます。（詳しくは 38 ページの「用語解説」をご覧ください。）

OpenMG による制限事項

INTERJUKE では OpenMG を採用していますが、著作権を保護するために、INTERJUKE での録音・再生・転送にはいくつかの制限事項があります。

- チェックアウトは、音楽 CD を録音した場合は 3 回まで行えます。
- チェックインして戻せば、また他の MD ディスクへチェックアウトできます。
- チェックアウトした音楽ファイルは、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。
- チェックアウトした音楽ファイルを、他のパソコンにはチェックインできません。
- 他のパソコンへ、音楽ファイルのコピーや転送はできません。
- インターネットなどによる音楽配信サービスから取り込んだ音楽ファイルに、著作権者やサービス事業者から、再生期間や再生回数などの利用制限が付いている場合、再生時にそれらの制限が適用されます。

SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム)

SCMSとは、デジタルコピーの世代管理規格です。デジタル録音では、デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするため、音楽信号がほとんど劣化することなく録音(コピー)されます。このために、著作権を保護するコピー規制が必要になり、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは、1世代のみに制限されています。

この規格により、INTERJUKE でデジタル録音した MD から他の機器にデジタル録音することはできません。

HCMS (ハイスピード・コピー・マネージメント・システム)

HCMSとは、高速録音開始時から74分以内に同じ曲を再度、高速録音することを制限する規格です。録音用MDは等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能なため、著作権を保護するための倍速録音に関する規制が設けられています。

この規格により本体では、CD から一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと再び倍速録音はできません。例えば、CD の 1 曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから 74 分間は、その CD の 1 曲目を再び MD に倍速録音することはできません。

CD をプログラムして倍速で録音するとき、プログラムの中に同じ曲が入っていると、この規格により、録音が途中で停止します。同じ曲をプログラムして録音するときは、等速で録音してください。

INTERJUKE をインストールする

- ❑ 本体とお手持ちのパソコンを、本体に付属の USB ケーブルで接続する前に、必ず INTERJUKE のインストールを完了してください。また、本体を接続した状態でインストールを行わないでください。必ずインストールの完了後、パソコンを再起動してから本体を接続し、それから INTERJUKE を起動してください。
- ❑ 本体とパソコンを初めて接続したときは、ドライバをインストールする必要があります。詳しくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

必要なシステム構成

INTERJUKE をインストールしてお使いになるには、次のような環境が必要となります。

適応パソコン	USB ポートを備えた IBM PC/AT 互換機
対応 OS (各日本語版)	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows Millennium Edition Windows 2000 Professional Windows 98 Second Edition Windows 98
CPU	Pentium II 300MHz 以上 (Pentium II 400MHz 以上推奨)
メインメモリ	64MB 以上 128MB 以上推奨 (Windows XP/Windows 2000 Professional)
ハードディスクの空き容量	150MB 以上 (Windows のバージョンや音楽データにより、空き容量が別途必要です。)
ディスプレイ	解像度 800 × 600 dpi 以上、High Color (16-bit) 以上 (最低) 解像度 1024 × 768 dpi 以上、High Color (16-bit) 以上 (推奨)
ビデオカード	16-bit カラー
音源	サウンドカード
その他	CD-ROM ドライブ インターネットへの接続環境 ウェブブラウザ (Microsoft Internet Explorer 5.01 以降) 日本語入力システム (Microsoft IME 98 以降) DirectX 8.1

- お使いの CD-ROM ドライブによっては、正しく動作しない場合があります。
- USB ハブおよび延長ケーブルで接続した場合の動作は保証いたしません。
- Windows 3.1/95 から Windows 98/98 Second Edition/Millennium Edition へアップグレード、または Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional から Windows XP へアップグレードした環境での動作は保証いたしません。
- OS のデュアルブート環境での動作は保証いたしません。
- パソコンのハードウェアや環境設定により動作しない場合があります。(自作パソコンでの動作は保証いたしません。) また、推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 古いバージョンの OpenMG Jukebox*または SonicStage*がインストールされているパソコンに INTERJUKE はインストールできません。OpenMG Jukebox または SonicStage のアップグレードが必要です。詳しくは INTERJUKE の CD-ROM に入っている [Omgup] をご覧ください。

* OpenMG Jukebox、SonicStage はソニー株式会社のソフトウェアです。

パソコンにインストールする

INTERJUKE を使用するには、お手持ちのパソコンに、INTERJUKE をインストールする必要があります。
インストールを始める前に、あらかじめパソコンの電源を入れ、Windows を起動しておきます。すべての Windows プログラムを終了した状態で、インストールを行ってください。

インストールする前に

- Windows XP/Windows 2000 Professional の場合

システム管理者用のアカウント (Administrator または Administrators グループに所属しているユーザー) でログインしてください。


1 Windows 98/98 Second Edition の場合

INTERJUKE のインストールの前に、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降のウェブブラウザがインストールされている必要があります。

2 インストール用 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動し、インストール開始画面が表示されます。



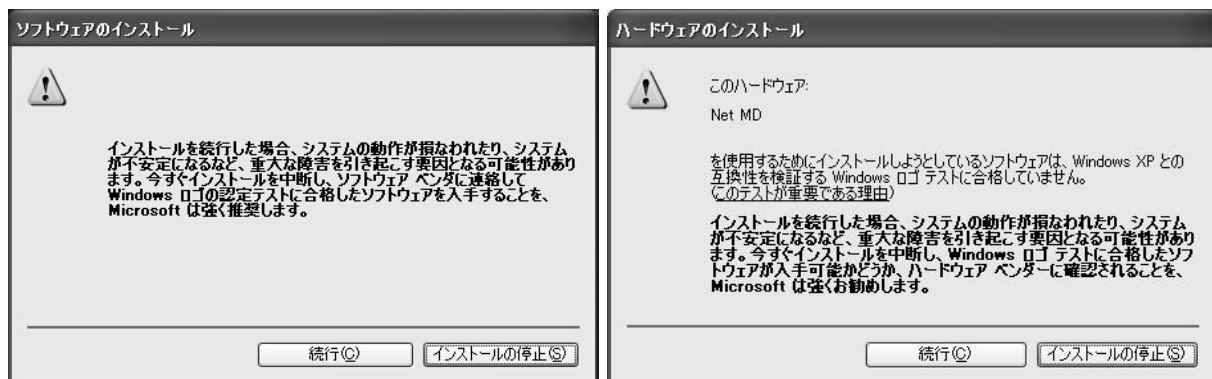
- CD-ROMを入れても自動的にインストール開始画面が表示されない場合は、以下の操作を行ってください。
 - ① デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックする。
 - ② CD-ROM ドライブを示す [INTERJUKE] をダブルクリックする。
 - ③  [Setup] をダブルクリックする。

(次ページへつづく)

3 「INTERJUKE のセットアップ」をクリックする

インストールが開始されます。あとは画面の指示に従って操作します。

- 「INTERJUKE のセットアップ」ではINTERJUKEの他に、Net MDドライバーとDirectX 8.1 ランタイムも同時にインストールされます。(ただし Windows XP では、DirectX 8.1 ランタイムはインストールされません。)
- Windows XPでは、ドライバーのインストール時に「ソフトウェアのインストール」、また初めてUSBケーブルで本体を接続した時に「ハードウェアのインストール」の警告メッセージが表示されます(下図参照)。動作上の問題は無いので、そのまま「続行」を選択してください。



4 インストールが完了する

INTERJUKE を使用するには、パソコンを再起動する必要があります。画面の指示に従って、パソコンを再起動します。

ご注意

- インストール用 CD-ROM を一般オーディオ用の CD プレイヤーでは演奏しないでください。
スピーカーの破損や、耳へ障害を被る原因となります。
- インストール用 CD-ROM は大切に保管してください。
インストール終了後も、再インストールが必要となった場合に使用します。

Net MD ドライバーが正しくインストールされているか確認する

Windows の「デバイスマネージャ」画面で、本体が正しく認識されているかを確認します。

本体とパソコンを接続して、本体の [PC-Net MD] ボタンを押すと、「デバイスマネージャ」画面の中に “Net MD” が表示されるようになります。以下の方法で、Net MD ドライバーの状態を確認してください。

1 [スタート] ボタンから、[コントロールパネル] をクリックする *

* Windows XP 以外では、[スタート] ボタンから、[設定] - [コントロールパネル] をクリックします。

2 クラシック表示の場合：[システム] をダブルクリックする *

カテゴリ表示の場合：[パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

* Windows XP 以外でも同様に、[システム] をダブルクリックします。

3 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] をクリックする

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

- お使いの OS によっては、[ハードウェア] タブがありません。この場合、[デバイスマネージャ] タブをクリックすると、「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

4 [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックする

- [Net MD] が表示されていれば、Net MD ドライバーは正しくインストールされています。
- [Net MD] が表示されない場合 (Net MD に「！」マークが付いている場合)
 - ① [その他のデバイス] をダブルクリックし、その下の「！」が付いた [不明なデバイス] を選択し、削除する
 - ② ドライバーが既にインストールされている場合：
本体を再接続し、本体の [PC-Net MD] ボタンを押す
 - ドライバーがインストールされていない場合：
ドライバーをインストールする

INTERJUKE のバージョンアップについて

最新ソフトウェアのダウンロードやサポート情報については、[ヘルプ]メニューから[WEBサイト]-[INTERJUKE のホームページ] をご覧ください。

1 デスクトップ上にある [INTERJUKE] アイコンをダブルクリックする

INTERJUKE が起動し、INTERJUKE の画面が表示されます。

- [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム*]－[INTERJUKE]－[INTERJUKE]をクリックしても起動します。
* Windows XP 以外では、[プログラム]です。

2 ナビが表示されるので任意のアイコンをクリックし、ナビで操作したい画面に切り換えるか、ナビを閉じて INTERJUKE の画面に戻る

INTERJUKE 起動時にナビが表示されない設定にすることもできます。[ツール]－[環境設定]－[その他]を選んで、「起動時にナビを表示する」のチェックを外します。

ご注意

- 本体の取扱説明書の「他の機器の音声を聞く」もお読みください。
- Windows XP並びにWindows 2000 Professionalをお使いの場合、INTERJUKEをご利用になるには以下に挙げるアカウントでログインしてください。

Windows XP Professional/Windows 2000 Professional:

- システム管理者用のアカウント (Administrator または Administrators グループに所属しているユーザー)
- 標準ユーザー (Power User)

Windows XP Home Edition:

- システム管理者用のアカウント (Administrator または Administrators グループに所属しているユーザー)

- INTERJUKE 上で複数の作業を同時に行うと、パソコンの性能によっては正常に動作しないことがあります。
- 他の音楽ソフトウェアと同時に INTERJUKE を起動して使用しないでください。
- 他のアプリケーションを操作しながら INTERJUKE を動作させると、正常に動作しないことがあります。

画面の見方

INTERJUKE の画面の各部の名称と、その機能についての概略を解説します。より詳しい解説は、ヘルプをご覧ください。

□ お使いの製品や OS によっては、画面の見え方が一部異なる場合があります。

INTERJUKE の画面の概要



- ① **【プレイリスト】**
プレイリスト画面を表示させます。(12 ページ)
- ② **【音楽 CD】**
音楽 CD 画面を表示させます。(13 ページ)
- ③ **【音楽ファイル】**
音楽ファイル (インポート) 画面を表示させます。(14 ページ)
- ④ **【チェック In/Out】**
チェックイン/チェックアウト画面を表示させます。(15 ページ)
- ⑤ **メニューバー**
INTERJUKE のメニューです。各メニューの詳細は、34 ページの「メニュー一覧」をご覧ください。

- ⑥ **音量調節**
本体の音量を調節します。(コンボコントロール機能をオンにしている時のみ表示されます。)
- ⑦ **【コンボ】**
コンボ画面 (コンボコントロール) を表示させます。(16 ページ)
- ⑧ **【インターネット】**
インターネット画面を表示させます。(17 ページ)
- ⑨ **【ナビ】**
ナビ画面を表示させます。(18 ページ)
- ⑩ **プレーヤー操作部**
プレイリスト内の音楽ファイル、パソコンの CD-ROM ドライブの音楽 CD、本体の CD あるいは MD の曲の再生・一時停止・停止・頭出しやリピートなどの操作を行います。また、音量の調節やイコライザーの設定もできます。

プレイリスト画面



① 【新規プレイリスト】

新規にプレイリストを作成します。

② 【検索】

INTERJUKE で管理している音楽ファイルから曲の検索をします。

③ 【削除】

ツリービュー(左ウィンドウ)のプレイリスト内ならびにリストビュー(右ウィンドウ)で選んでいる項目を削除します。

④ 【OMG 変換】

リストビュー(右ウィンドウ)で選んでいる項目を OMG (OpenMG) 形式へ変換します。

⑤ 【変換中止】

OMG (OpenMG) 形式への変換を中止します。

⑥ ツリービュー(左ウィンドウ)

プレイリストやその他の情報が、Windows のエクスプローラ形式で表示されます。

● プレイリスト

INTERJUKE で好きな音楽ファイルを集めて作成したプレイリストや、音楽 CD を録音したときに自動的に作られたプレイリストの一覧が表示されます。

● アーティスト

INTERJUKE で管理している音楽ファイルのアーティストの一覧が表示されます。

● アルバム

INTERJUKE で管理している音楽ファイルのアルバムの一覧が表示されます。

● ジャンル

INTERJUKE で管理している音楽ファイルのジャンルの一覧が表示されます。

● すべての曲

INTERJUKE で管理しているすべての音楽ファイルの一覧が表示されます。

⑦ 【1 つ上へ】

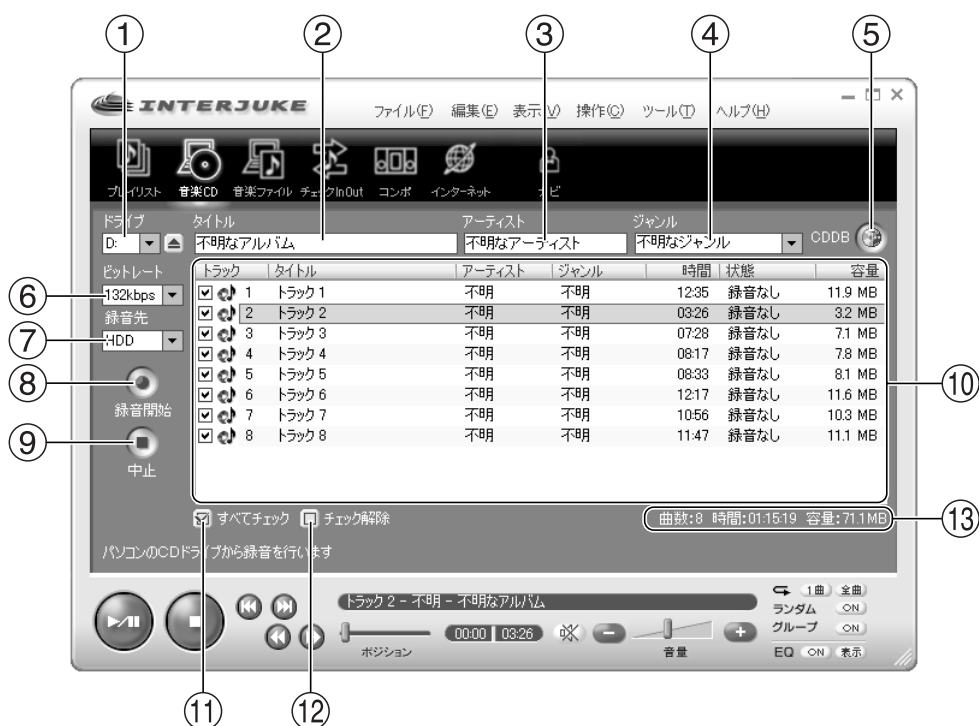
ツリービュー(左ウィンドウ)で選んでいる項目の 1 つ上の階層へ移動します。

⑧ リストビュー(右ウィンドウ)

ツリービュー(左ウィンドウ)で選んだ項目にある音楽ファイルの一覧が表示されます。

⑨ 【曲数/時間/容量】表示

リストビュー内のトラックの曲数、合計再生時間、合計容量を表示します。



① 【ドライブ】表示

音楽 CD の入っているドライブを選びます。また、その右の取り出しボタンで、音楽 CD を取り出します。

② 【タイトル】表示欄

音楽 CD のアルバムを表示／入力します。

③ 【アーティスト】表示欄

音楽 CD のアーティストを表示／入力します。

④ 【ジャンル】表示欄

音楽 CD のジャンルを表示／入力します。またはドロップダウンリストよりジャンルを選びます。

⑤ 【CDDB】

CDDB に接続して、音楽 CD の情報を取り込みます。

⑥ 【ビットレート】表示

ドロップダウンリストより、録音時のビットレートを選びます。

⑦ 【録音先】表示

ドロップダウンリストより、録音先を選びます。

⑧ 【録音開始】

録音を開始します。

⑨ 【中止】

録音を中止します。

⑩ トラック表示部

音楽 CD 内のトラックの一覧と、それぞれのトラックの情報(トラック、タイトル、アーティスト、ジャンル、時間、状態、容量)が表示されます。表示される容量は、ハードディスクまたは MD の録音に必要な大きさです。

⑪ 【すべてチェック】

トラック表示部内のすべてのトラックが録音候補になります。

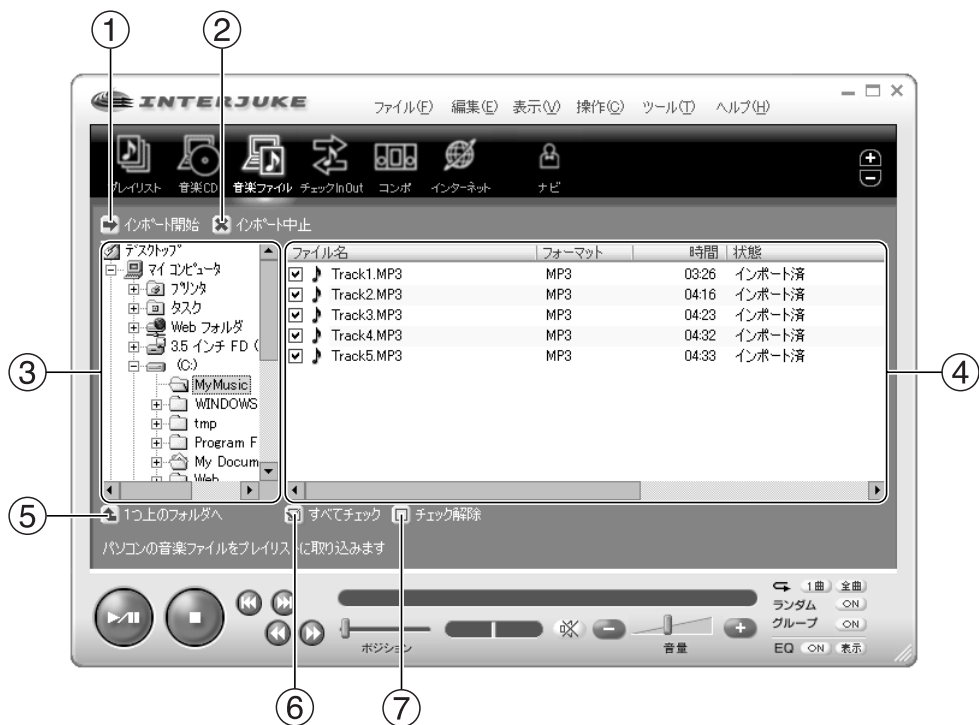
⑫ 【チェック解除】チェックボックス

すべての録音候補が解除されます。

⑬ 【曲数／時間／容量】表示

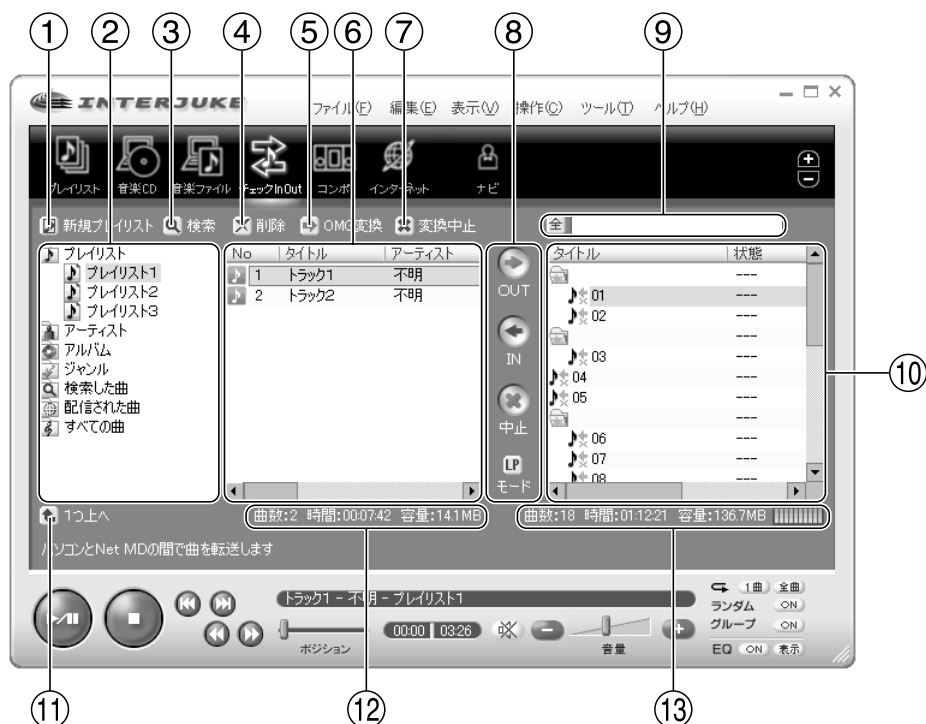
チェックのついているトラックの曲数、合計再生時間、合計容量を表示します。

音楽ファイル (インポート) 画面



- ① **【インポート開始】**
インポートを開始します。
- ② **【インポート中止】**
インポートを中止します。
- ③ **ツリービュー(左ウィンドウ)**
プレイリストやその他の情報が、Windows のエクスプローラ形式で表示されます。
- ④ **リストビュー(右ウィンドウ)**
ツリービュー(左ウィンドウ)で選んだ項目の内訳の一覧が表示されます。
- ⑤ **【1つ上のフォルダへ】**
ツリービュー(左ウィンドウ)内で、選ばれているフォルダの1つ上の階層のフォルダへ移動します。
- ⑥ **【すべてチェック】**
リストビュー内のすべてのファイル・フォルダがインポート候補になります。
- ⑦ **【チェック解除】**
すべてのインポート候補が解除されます。

チェックイン/チェックアウト画面



① 【新規プレイリスト】

新規にプレイリストを作成します。

② ツリービュー

プレイリストやその他の情報が、Windows のエクスプローラ形式で表示されます。

③ 【検索】

INTERJUKE で管理している音楽ファイルから曲の検索をします。

④ 【削除】

ツリービュー(左ウィンドウ)のプレイリスト内、リストビューならびに MD 収録曲一覧で選んでいる項目を削除します。

⑤ 【OMG 変換】

リストビューで選んでいる項目を OMG (OpenMG) 形式へ変換します。

⑥ リストビュー

ツリービュー(左ウィンドウ)で選んだ項目の内訳の一覧が表示されます。

⑦ 【変換中止】

OMG (OpenMG) 形式への変換を中止します。

⑧ チェックイン/チェックアウトボタン

● 【OUT】

リストビューで選んだ曲を MD にチェックアウトします。

● 【IN】

MD 収録曲一覧で選んだ曲をパソコンにチェックインします。

● 【中止】

チェックイン/チェックアウトを中止します。

● 【モード】

チェックアウトの録音モードを切り換えます。

⑨ タイトル表示欄

MD のタイトルを表示/入力します。入力領域の左のボタンを押すと、全角/半角の切り換えができます。

⑩ MD 収録曲一覧

本体に挿入されている MD に収録されている曲の一覧が表示されます。

⑪ 【1 つ上へ】

ツリービュー(左ウィンドウ)で選んでいる項目の 1 つ上の階層へ移動します。

⑫ 【曲数/時間/容量】表示

選ばれているチェックリスト内の曲数、合計再生時間、合計容量を表示します。

⑬ 【曲数/時間/容量】表示

本体に挿入されている MD に収録されている曲数、合計再生時間、合計容量を表示します。

コンポ画面 (コンポコントロール)



- ① **【コンボ】**
1 つ前の画面に戻ります。
- ② **【MD】**
本体の MD を操作します。
- ③ **【CD】**
本体の CD を操作します。
- ④ **【FM/AM】**
本体のラジオのバンドを切り換えます。
- ⑤ **【外部入力】**
本体の外部入力のラインを切り換えます。
- ⑥ **音量調節**
本体の音量を調節します。(コンポコントロール機能をオンにしている時のみ表示されます。詳しくは、29 ページの「パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)」をご覧ください。)
- ⑦ **各機能表示部**
各ボタンで選んだ機能により、表示は異なります。

インターネット画面



① 【アドレス】表示欄

接続したいインターネットアドレス (URL) を入力します。

② 【戻る】

1 つ前の画面に戻ります。

③ 【進む】

1 つ先の画面に進みます。

④ 【ホーム】

インターネット画面起動時の画面を表示します。

⑤ 【お気に入り】

Internet Explorer で [お気に入り] に登録しているウェブページを表示できます。

⑥ 【中止】

接続を試みているインターネットアドレス (URL) への接続を中止します。

⑦ 【更新】

表示されているページを最新の状態に更新します。

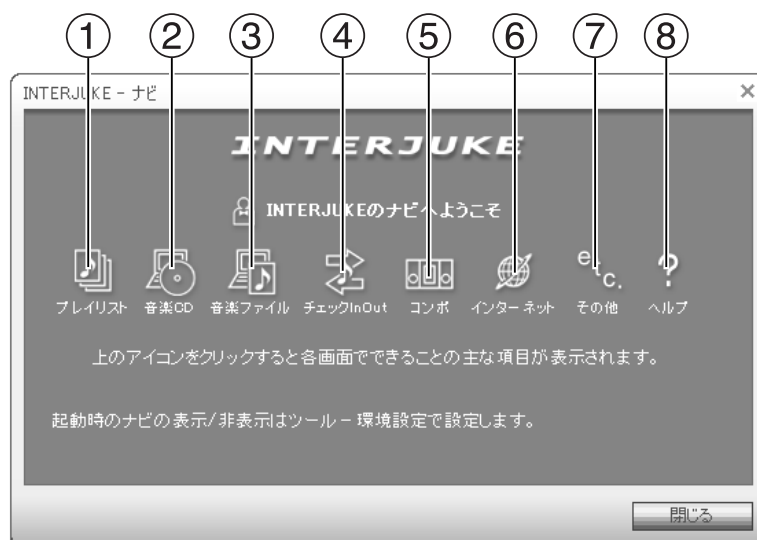
⑧ ページ表示部

[アドレス] 表示部に入力したインターネットアドレス (URL) のページを表示します。

ご注意

ページ表示部に最初に表示される画面 (デフォルト) において、ボタンを押した先のホームページを見るためには、以下の条件が必要となります。

- Internet Explorer 5.01 以降がインストールされていること。
- インターネット接続環境が整い、接続状態であること。



① プレイリスト

プレイリスト画面でできる操作の一覧が表示されます。

② 音楽 CD

音楽 CD 画面でできる操作の一覧が表示されます。

③ 音楽ファイル

音楽ファイル画面でできる操作の一覧が表示されます。

④ チェック InOut

チェック InOut 画面でできる操作の一覧が表示されます。

⑤ コンボ

コンボ画面でできる操作の一覧が表示されます。

⑥ インターネット

インターネット画面でできる操作の一覧が表示されます。

⑦ その他

その他にできる操作の一覧が表示されます。

⑧ ヘルプ

ヘルプが表示されます。

音楽を録音する

音楽 CD の曲を録音する

音楽 CD から好きな曲を選んで録音、OpenMG 形式の ATRAC3 ファイルに変換してハードディスクに録音します。録音した音楽ファイルは、「プレイリスト」として管理・編集できます。

1 録音したい音楽 CD を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- お使いの CD-ROM ドライブにはじめて音楽 CD を挿入すると [CD ドライブのチェック] 画面が表示されるので、[開始] をクリックしてドライブのチェックを行ってください。音楽 CD を最適な状態で録音できるように CD-ROM ドライブのチェックをします。

2 INTERJUKE の画面上部にある [音楽 CD] をクリックする

音楽 CD のトラック一覧が表示されます。



- [CDDB] を押すか、または [ツール] - [環境設定] - [CDDB] で「自動的に CDDB に接続する」を選択していると、CD データベース・サービスに接続して、自動的に音楽 CD 情報が表示されます。(詳しくは 38 ページの「用語解説」をご覧ください。) 「このアルバムの情報は見つかりませんでした」が表示された場合は、ご自分で入力してください。
CDDB 機能を利用するには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

3 録音するビットレートを選ぶ

[ビットレート] ドロップダウンリストから、お望みのビットレートを選びます。

3 つのビットレート (132kbps = LP2、105kbps = LP2、66kbps = LP4) が用意されており、ビットレートにより音質と録音可能時間が異なります。ビットレートとは、一秒あたりの情報量を現す数値です。同じ形式の音楽ファイルを比較する場合は、この数値が高いものほど、音質は良くなります。逆に、ビットレートが低い音楽ファイルは、音質は劣りますが、ファイルサイズを小さくすることができます。音楽ファイルを作成する際には、目的に合わせてビットレートを設定する必要があります。

- 指定できるビットレートと録音モード (LP モード) の関係については、20 ページの表をご覧ください。

(次ページへつづく)

4 録音先を選ぶ

[録音先] ドロップダウンリストに表示される録音先のリストから、録音先を選びます。

HDD: パソコンのハードディスクに録音されます。

HDD+MD: パソコンのハードディスクに録音されると同時に、本体の MD ディスクにチェックアウトされます。ただしこの場合、お手持ちのパソコンと本体を、本体に付属の USB ケーブルで接続し、本体の [PC-Net MD] ボタンを押してコンポコントロール機能をオンにする必要があります。(詳しくは29 ページの「パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)」をご覧ください。) MD にチェックアウトする録音モードの設定は、27 ページの「チェックイン/チェックアウトする」をご覧ください。

5 アルバムタイトルが表示されていない場合、[タイトル] 欄をクリックしてアルバムのタイトルを入力する

入力されたタイトルが、プレイリスト名になります。

6 トラッカー一覧で、録音したい曲のチェックボックスをクリックしてチェックをつける

録音しない曲 (トラック) は、チェックをはずすと録音されません。

誤ってチェックをはずしてしまった場合は、再度クリックするとチェックがつきます。

- すべての曲にチェックをつけるには [すべてチェック] をクリック、チェックのついている曲からまとめてチェックをはずすには [チェック解除] をクリックします。

7 [録音開始] をクリックする

曲の録音が始まります。途中で録音を中断するには、[中止] をクリックします。

- 録音が完了するまでに他のソフトウェアを起動・動作させないでください。

ご注意

外付け CD-ROM ドライブを使う場合は、以下の注意点をお守りください。

- ☐ あらかじめ CD-ROM ドライブを接続して電源を入れておいてから、INTERJUKE を起動してください。
- ☐ INTERJUKE の起動中に、以下のことを行わないでください。
 - CD-ROM ドライブの電源を切る。
 - CD-ROM ドライブとパソコンとの接続ケーブルを抜く。
- ☐ 録音中に CD を取り出さないでください。
- ☐ USB または IEEE1394 接続の一部の CD-ROM ドライブでは、正常に動作しないことがあります。

• 音楽 CD 録音時に指定できるビットレートと録音モード (LP モード) の関係

ビットレート	録音モード	音質	ファイルサイズ
132kbps	LP2	LP2 の MDLP 録音と同等の音質です。	CD の十分の一程度です。
105kbps	LP2	LP2 と LP4 の MDLP 録音の中間の音質です。	132kbps の OMG ファイルより小さくなります。
66kbps	LP4	LP4 の MDLP 録音と同等の音質です。	132kbps の OMG ファイルの半分程度になります。

パソコンのハードディスク上の音楽ファイルをインポートする

インターネットによる音楽配信サービスなどを利用してパソコンに録音した音楽ファイルを、INTERJUKE に取り込むことを「インポート」と言います。INTERJUKE では、以下の形式の音楽ファイルをインポートすることができます。

- **MP3 ファイル** (16 ビット、ステレオ/モノラル、32kHz/44.1kHz/48kHz)
 - 可変ビットレートおよび256kbps以上のビットレートで作成されたMP3形式の音楽ファイルは、再生およびチェックアウトが正常にできないことがあります。
- **WAV ファイル** (リニア PCM、16 ビット、ステレオ/モノラル、32kHz/44.1kHz/48kHz)
- **OMG (OpenMG) ファイル** (ステレオ)

1 INTERJUKE の画面上部にある [音楽ファイル] をクリックする

インポート画面が表示されます。



基本操作

2 ツリービュー(左ウィンドウ)で、インポートしたい音楽ファイルがあるフォルダをクリックする

クリックしたフォルダ内にある音楽ファイルが、リストビュー(右ウィンドウ)に表示されます。

3 リストビュー(右ウィンドウ)で、インポートしたい音楽ファイルのチェックボックスをクリックしてチェックをつける

4 [インポート開始] をクリックする

チェックをつけた音楽ファイルがプレイリストにインポートされます。インポート先のプレイリストは、選択した既存のプレイリストか、新規に作成するプレイリストです。途中でインポートを中断するには、[インポート中止] をクリックします。

インポート時の設定

INTERJUKE に音楽ファイルをインポートする際に、初期設定では元のファイル形式のままインポートします。OMG (OpenMG) 形式に変換してインポートするには以下の手順で設定できます。

- ① [ツール] メニューの [環境設定] を選び、[インポート] タブをクリックする。
- ② [OMG 形式に変換してインポートする] にチェックをつける。
- ③ [変換時のビットレート] ドロップダウンリストからビットレートを選ぶ。

プレイリストを作成・管理する

INTERJUKE で作成した音楽ファイルは、「プレイリスト」を作ることにより、アーティスト別・アルバム別・ジャンル別に管理して再生することができます。音楽 CD を録音すると、自動的に新しいプレイリストが作成されますが、お気に入りの曲だけを集めたプレイリストを作成することもできます。

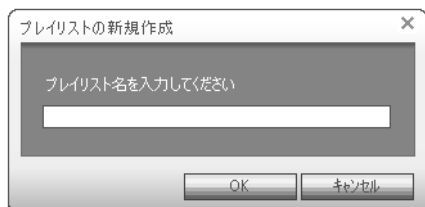
新規にプレイリストを作成する

1 INTERJUKE の画面上部にある [プレイリスト] をクリックする

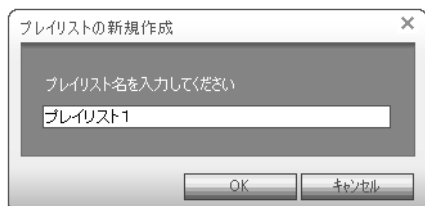
プレイリスト画面が表示されます。



2 [新規プレイリスト] をクリックする



3 新規に作成するプレイリスト名を入力する



4 [OK] をクリックする

既存のプレイリストを編集する

プレイリストに曲を追加する

1 プレイリストに追加したい曲が含まれているグループを、ツリービュー(左ウィンドウ)からクリックして選ぶ

クリックしたグループ内にある曲が、リストビュー(右ウィンドウ)に表示されます。



2 リストビュー(右ウィンドウ)で、追加したい曲をクリックして選ぶ

[Shift] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が連続している複数の曲をまとめて選べます。
[Ctrl] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が離れている複数の曲をまとめて選べます。

3 プレイリスト(左ウィンドウ)に追加したい曲をドラッグ&ドロップする

ドラッグ&ドロップした曲が、プレイリストに追加されます。
他にも追加したい曲があれば、以上1と2の操作を繰り返します。

- リストビュー(右ウィンドウ)で曲を選択して、右クリックメニューからプレイリストへ追加することもできます。

プレイリストの曲順を並べ替える

1 曲順を並べ替えたいプレイリストを、ツリービュー(左ウィンドウ)からクリックして選ぶ

クリックしたプレイリスト内にある曲が、リストビュー(右ウィンドウ)に表示されます。

2 リストビュー(右ウィンドウ)で、並べ替えたい曲を選び、ドラッグ&ドロップして任意の位置へ移動する

プレイリストの曲は、曲の一覧の番号順に再生されます。

- [編集]メニューの[1 つ上へ]または[1 つ下へ]をクリックして並べ替えることもできます。
- [Alt] キーを押しながら、[↑]または[↓]キーでも移動できます。

音楽を再生する

INTERJUKE で作成されプレイリストに収められた曲や、ハードディスクやCD-ROM上のMP3などの音楽ファイルを再生することができます。本体に付属の USB ケーブルでパソコンと本体を接続し、本体のスピーカーから音楽を楽しむことも可能です。(本体との接続方法については本体の取扱説明書をご覧ください。)

□ INTERJUKE では MP3、WAV、OMG (OpenMG) 形式の音楽ファイルを再生することができます。

プレイリストに収められている曲を再生する

1 INTERJUKE の画面の上部にある [プレイリスト] をクリックする

または、INTERJUKE の画面のメニューバーから [表示] - [プレイリスト] を選びます。プレイリスト画面が表示されます。

2 再生したい曲が収められているプレイリストを、プレイリスト画面のツリービュー(左ウィンドウ)でクリックして選ぶ

クリックしたプレイリスト内にある曲が、リストビュー(右ウィンドウ)に表示されます。



3 再生したい曲をリストビュー(右ウィンドウ)で選び、画面左下の再生ボタンをクリックする

選んだ曲の再生が始まります。プレイリストを選んだだけの状態で再生ボタンを押すと、プレイリスト内の曲が、先頭の曲から順番に再生されます。

再生を停止するには、停止ボタンをクリックします。

- リストビュー(右ウィンドウ)の曲をダブルクリックしても再生できます。また、リストビュー(右ウィンドウ)の曲を選択し、右クリックメニューから再生することもできます。
- プレイリストを選択し右クリックメニューから再生すると、プレイリストの先頭の曲から再生されます。

CD-ROM ドライブやハードディスク上の音楽ファイルを再生する

CD-ROM ドライブで音楽 CD を再生する

1 INTERJUKE の画面の上部にある [音楽 CD] をクリックする

または、INTERJUKE の画面のメニューバーから [表示] - [音楽 CD] を選びます。
音楽 CD 画面が表示されます。

2 再生したいトラックをトラック表示部で選び、画面左下の再生ボタンをクリックする

選んだ曲の再生が始まります。

- 再生を停止するには、停止ボタンをクリックします。
- リストビュー(右ウィンドウ)の曲をダブルクリックしても再生できます。また、リストビュー(右ウィンドウ)の曲を選択し、右クリックメニューから再生することもできます。



基本
操作

(次ページへつづく)

ハードディスク上の音楽ファイルを再生する

1 INTERJUKE の画面の上部にある [音楽ファイル] をクリックする

または、INTERJUKE の画面のメニューバーから [表示] - [音楽ファイル] を選びます。
音楽ファイル画面が表示されます。

2 再生したい音楽ファイルのある場所を、ツリービュー(左ウィンドウ)でクリックして選ぶ

クリックした場所にある音楽ファイルが、リストビュー(右ウィンドウ)に表示されます。

3 再生したい音楽ファイルをリストビュー(右ウィンドウ)で選び、画面左下の再生ボタンをクリックする

選んだ曲の再生が始まります。

- 再生を停止するには、停止ボタンをクリックします。
- リストビュー(右ウィンドウ)の曲をダブルクリックしても再生できます。また、リストビュー(右ウィンドウ)の曲を選択し、右クリックメニューから再生することもできます。



ご注意

曲間の無い CD (ライブやノンストップ等) を録音したファイルを再生すると、曲間ができません。

チェックイン/チェックアウトする

INTERJUKE で作成・保存した音楽ファイルを、本体にチェックアウトできます。チェックアウトは、音楽 CD から録音した場合は、3 回まで行えます。

本体にチェックアウトした音楽ファイルは、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。

□ チェックイン/チェックアウトしているときは、以下のことを行わないでください。故障の原因となります。

- USB ケーブルを抜く
- 本体の [PC-Net MD] をオフにする
- パソコン、または本体の電源をオフにする

□ 一度に数十曲をチェックアウトまたはチェックインすると、長い時間かかることがあります。

音楽ファイルを本体に転送する (チェックアウト)

1 本体とパソコンを、本体に付属の USB ケーブルで接続する

- 接続方法については本体の取扱説明書をご覧ください。

2 本体の [PC-Net MD] ボタンを押して、コンポコントロール機能をオンにする

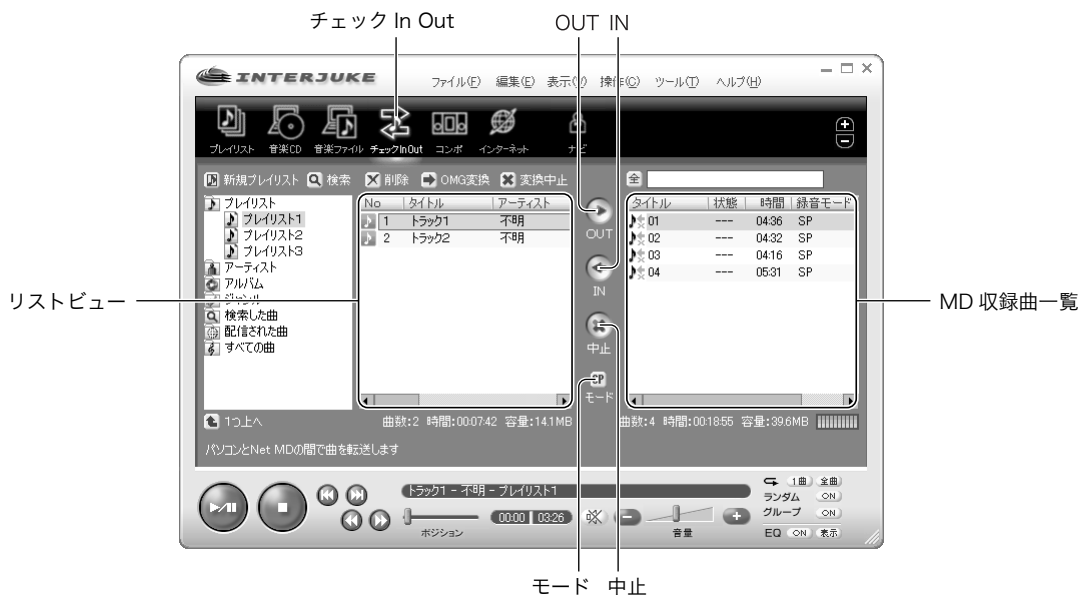
本体がパソコンに認識され、MD の情報を読み取ります。

詳しくは、29 ページの「パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)」をご覧ください。

3 INTERJUKE の画面の上部にある [チェック In Out] をクリックする

チェックイン/チェックアウト画面が表示されます。

MD 収録曲一覧に、本体に入っている MD 内の曲の一覧が表示されます。



4 リストビューで、チェックアウトしたい曲またはプレイリストをクリックして選ぶ

[Shift] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が連続している複数の曲をまとめて選べます。

[Ctrl] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が離れている複数の曲をまとめて選べます。

プレイリストからチェックアウトすると、自動的にプレイリスト名でグループを作り、その中に録音されます。

(次ページへつづく)

5 [モード] をクリックして、録音モードを選ぶ

LP モードでチェックアウトした場合、その MD は MDLP 対応機でのみ演奏が可能です。MDLP 非対応機で演奏する場合は、SP モードでチェックアウトしてください。SP モードでチェックアウトしても、音質は LP モード相当になります。また、SP モードは MDLP 非対応機で演奏させるためのモードで、音質は録音した時のビットレート相当となり、本体で録音した SP モードとは異なります。

- 曲間の無い CD (ライブやノンストップ等) を録音してチェックアウトした場合、SP モードでは曲間ができません。
- LP モードでチェックアウトする場合の録音モードは、OMG ファイルのビットレートによって、LP2 または LP4 が自動的に決まります。(20 ページの表をご覧ください。)

6 [OUT] をクリックする

選んだ曲のチェックアウトが開始され、MD 収録曲一覧に追加されます。

途中でチェックアウトを中止する場合は、[中止] をクリックします。

- チェックアウトが完了するまで他のソフトウェアを起動・動作させないでください。

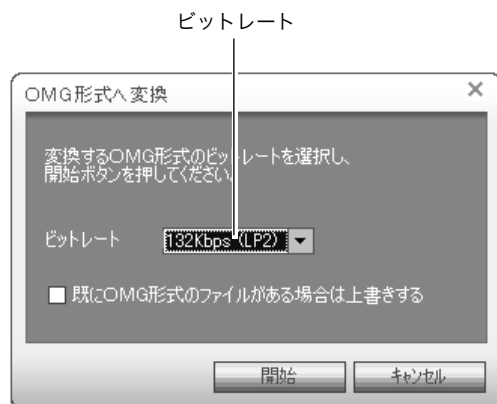
OMG (OpenMG) 形式への変換

INTERJUKE に MP3 や WAV のままでインポートした音楽ファイルをチェックアウトすると、自動的に OMG 形式のファイルに変換されてからチェックアウトされます。チェックアウトする前に以下の手順で OMG 形式のファイルに変換することもできます。

- ① 変換したい音楽ファイルが含まれているプレイリストを、ツリービュー(左ウィンドウ)からクリックして選ぶ。
- ② リストビューで、変換したい音楽ファイルをクリックして選ぶ。
- ③ [OMG 変換] をクリックする。
(または [操作] - [OMG 形式へ変換])
- ④ ビットレートをドロップダウンリストから選び、[OK] をクリックする。

選んだ音楽ファイルが OMG 形式に変換されます。

- 変換が完了するまで他のソフトウェアを起動・動作させないでください。



チェックアウトした音楽ファイルをパソコンに戻す (チェックイン)

本体に入っている MD 内の曲は、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。

1 INTERJUKE の画面の上部にある [チェック In Out] をクリックする

チェックイン/チェックアウト画面が表示されます。

MD 収録曲一覧に、本体に入っている MD 内の曲の一覧が表示されます。

2 MD 収録曲一覧で、チェックインしたい曲またはグループをクリックして選ぶ

[Shift] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が連続している複数の曲をまとめて選べます。

[Ctrl] キーを押したまま曲をクリックすると、曲順が離れている複数の曲をまとめて選べます。

3 画面中央の [IN] をクリックする

選んだ曲のチェックインが開始され、チェックイン終了時に、リストビューのチェックアウトできる回数が追加されます。

途中でチェックインを中止する場合は、[中止] をクリックします。

パソコンから本体を操作する (コンポコントロール)

パソコンに本体を接続して、本体の [PC-Net MD] ボタンを押すと、パソコンから本体を操作することができます。

- 本体とパソコンの接続方法は本体の取扱説明書をご覧ください。
- 本体の MD 情報の読み取りは多少時間がかかります。(MD の録音状態により、時間は異なります。)
- INTERJUKE で操作できるのは、「SS-NT1MD」のみです。他の Net MD 対応機種の操作はできません。

1 本体とパソコンを、本体に付属の USB ケーブルで接続する

- 接続方法については本体の取扱説明書をご覧ください。

2 本体の [PC-Net MD] ボタンを押して、コンポコントロール機能をオンにする

3 INTERJUKE の画面の上部にある [コンポ] をクリックする

コンポ画面が表示されます。

- もう一度 [コンポ] をクリックすると元のボタン画面に戻ります。

4 本体で行いたい操作のボタンをクリックして選ぶ



(次ページへつづく)



MD を操作する

画面の下部の操作ボタンを使って通常の演奏だけでなく、リピートやランダム、グループ演奏などもできます。

- MD を入れ換えた際、コンポの MD 情報を読み取るのに多少時間がかかります。
- MD にディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルがつけられます。
- 曲を選択し、右クリックメニューまたは[編集]メニューの[曲情報の編集]から、MD の曲情報の確認・入力・編集・全角→半角変換ができます。
- MD 内の曲の移動やグループの編集、MD の ALL ERASE (初期化) も可能です。
- 不要な曲をクリックして選び、[削除]を押すと MD から曲を削除できます。
- [プログラム]をクリックするとプログラム演奏ができます。(最大 32 曲までプログラム可能)
- [取り出し]をクリックして MD を取り出すこともできます。



ご注意

チェックアウトまたはタイトル編集の後、本体の電源プラグを抜くと、MD へ正しく記録されません。MD の操作終了後は必ず MD を取り出してください。



CD を操作する

画面の下部の操作ボタンを使って通常の演奏だけでなく、リピートやランダム演奏などもできます。

- CD を入れ換えた際、コンポの CD 情報を読み取るのに多少時間がかかります。
- [プログラム]をクリックするとプログラム演奏ができます。(最大 32 曲までプログラム可能)
- [開閉]をクリックして CD ドアを開閉することもできます。



CD の録音

[録音画面]をクリックすると録音画面が表示され、CD から MD への録音をすることができます。

- ① [録音速度]と[録音時間]をドロップダウンリストから選ぶ
- ② [開始]をクリックする
トラック 1 から録音が始まり、MD 収録曲一覧に追加されます。
- 途中で録音を中止する場合は、[中止]をクリックします。
- グループ録音を行うには、[ツール]→[環境設定]→[その他]で「グループ録音を行う」のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

プログラム録音

- ① [プログラム]をクリックし、リストビューでプログラム録音したい曲を選択する
- ② 中央の[追加]ボタンをクリックする
右のプログラムリストに選んだ曲が追加されます。この操作を繰り返します。
- ③ [録音画面]ボタンをクリックする
プログラム録音画面に切り換わります。
- ④ 中央の[開始]ボタンをクリックする
プログラム録音が始まり、プログラムしたとおりに録音されます。
- プログラム録音は、等速と 2 倍速が可能です。(本体は 4 倍速まで可能です。)

録音速度 録音時間 プログラム



リストビュー 中止 開始



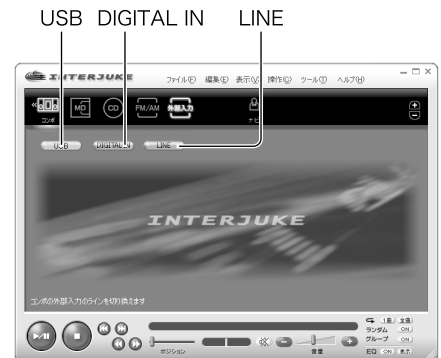
FM/AM のバンドを選ぶ

- [FM] をクリックすると、本体で受信している FM のラジオを聞くことができます。
- [AM] をクリックすると、本体で受信している AM のラジオを聞くことができます。



外部入力を選ぶ

- [USB] をクリックすると、パソコンで再生している音声を、本体をととして聞くことができます。
 - [DIGITAL IN] をクリックすると、本体のOPTICAL DIGITAL IN 端子に接続されている機器からの音源を聞くことができます。
 - [LINE] をクリックすると、本体の LINE IN 端子に接続されている機器からの音源を聞くことができます。
- パソコン上の音楽ファイルを再生すると、自動的に外部入力が USB に切り換わります。ただし、チェックイン/チェックアウト中には切り換わらないため、パソコン上の音楽ファイルを再生しても音が聞こえないことがあります。



ナビ機能を利用する

ナビ機能を使って画面の表示に従って進むことで、操作の説明だけでなく、目的の画面を表示することもできます。INTERJUKE の各画面でできることを確認するのにも便利です。

ナビ機能を起動する

1 INTERJUKE の画面の上部にある [ナビ] をクリックする

ナビ画面が INTERJUKE の画面の前面に表示されます。

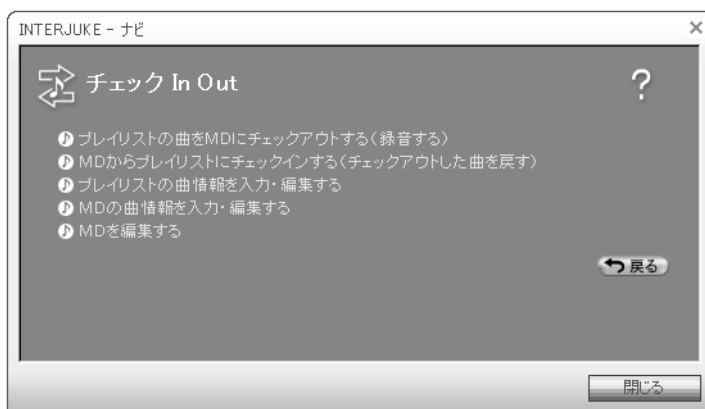


2 INTERJUKEの各画面または[その他]から、内容を表示させたいアイコンをクリックする

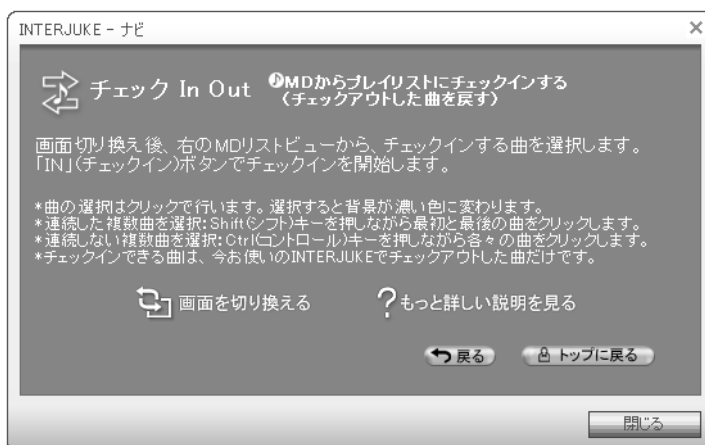
[ヘルプ] をクリックした場合は、ヘルプが表示されます。



3 操作のリストから表示させたい項目を選びクリックする



4 選んだ項目の説明が表示される



- 表示させた項目で[画面を切り換える]をクリックすると、選択した項目に対応したINTERJUKEの画面に切り換わります。
- さらに詳しい説明を見るには、[もっと詳しい説明を見る]をクリックすると、ヘルプが表示されます。

ナビは、代表的な操作項目の簡単な説明と、INTERJUKE への画面の切り換えを行います。使い方を覚えるのに便利です。

INTERJUKEの画面のメニューバーから[ツール]－[環境設定]－[その他]で、起動時のナビ表示の設定ができます。

メニュー一覧

[ファイル]メニュー

新規プレイリスト

新規プレイリストを作成します。

新規グループ

MD 上に新規グループを作成します。

曲の検索

曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名から曲を検索します。

終了

INTERJUKE を終了します。

[編集]メニュー

プレイリスト名変更

選択しているプレイリスト名を変更します。

グループ名の変更

MD の選択しているグループ名を変更します。

曲情報の編集

タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンルなどの曲情報を編集します。

削除

選択している曲を音楽ライブラリから削除します。

- この場合は、INTERJUKE に録音した曲自体 (音楽ファイルそのもの) は削除されません。

また、MD の曲を削除することもできます。

- この場合は、曲自体 (音楽ファイルそのもの) が完全に削除されます。

JOIN < 結合 >

2つの曲をつなぎます。

DIVIDE < 分割 >

曲を2つに分けます。

グループ JOIN < 結合 >

2つのグループをつなぎます。

グループ DIVIDE < 分割 >

グループを2つに分けます。

ALL ERASE < MD の初期化 >

MD コンポに入っている MD を ALL ERASE (初期化) します。

1つ上へ

プレイリストで選択している曲を1つ上へ移動します。

1つ下へ

プレイリストで選択している曲を1つ下へ移動します。

すべてチェック

すべてのファイルにチェックを付けます。

すべてチェック解除

ファイルに付けたすべてのチェックを解除します。

すべて選択

表示されている画面において、ツリービュー(左ウィンドウ)から選択されたリストビュー内の項目、選択されたプレイリスト内にある曲、CD のトラック表示部内の曲、MD 収録曲一覧内の曲などをすべて選択します。

[表示]メニュー

プレイリスト

プレイリスト画面を表示します。

音楽 CD

音楽 CD 画面を表示します。

音楽ファイル

音楽ファイル (インポート) 画面を表示します。

チェックイン/アウト

チェック InOut 画面を表示します。

コンポ操作

表示するコンポ画面 (コンポコントロール) を選択します。

MD: コンポ画面 (コンポコントロール) の MD 操作画面を表示します。

CD: コンポ画面 (コンポコントロール) の CD 操作画面を表示します。

FM/AM: コンポ画面 (コンポコントロール) の FM/AM のバンド選択画面を表示します。

外部入力: コンポ画面 (コンポコントロール) の外部入力機器の選択画面を表示します。

プログラム画面: コンポ画面 (コンポコントロール) の CD のプログラム演奏画面を表示します。

録音画面: コンポ画面 (コンポコントロール) の CD の録音画面を表示します。

インターネット

インターネット画面を表示します。

ナビ

ナビ画面を表示します。

スコープ

スコープの表示スタイルを選択します。

スペアナ: スコープをスペアナスタイルで表示します。

波形: スコープを波形スタイルで表示します。

最新の情報に更新

表示されている情報を最新のものに更新します。

[操作] メニュー

再生／一時停止

選択しているプレイリストや曲を再生します。再生中には再生を一時停止します。

停止

再生を停止します。

前へ

現在再生中の曲の始めを頭出しします。

次へ

現在再生中の曲の次の曲を頭出しします。

ランダム

プレイリスト内の曲をランダムな順序で再生する機能の ON/OFF を切り換えます。

グループ再生

MDのグループ再生機能のON/OFFを切り換えます。

リピート

リピート再生の設定を選択します。

1曲リピート : 再生中の曲を、繰り返し再生します。

全曲リピート : 再生中のプレイリスト内のすべての曲を、繰り返し再生します。

リピートなし : リピートなしで再生をします。

イコライザー

イコライザーに関する選択をします。

イコライザー画面 : イコライザー画面を表示します。4つまで好みの音質に調整することができ、その設定をユーザー設定として保存することもできます。また、[リセット] をクリックすると、設定をリセットすることができます。

イコライザーON : イコライザー機能をONにします。

インポート開始

選択した曲のインポートを開始します。

インポート中止

曲のインポートを中止します。

OMG 形式へ変換

選択した曲を OMG 形式へ変換します。

OMG 形式へ変換中止

曲の OMG 形式への変換を中止します。

録音開始

音楽 CD の録音を開始します。

録音中止

音楽 CD の録音を中止します。

チェックイン開始

チェックインを開始します。

チェックアウト開始

チェックアウトを開始します。

チェックイン／アウト中止

チェックイン／アウトを中止します。

録音モード

チェックアウトの録音モードを選択します。

LP 録音 : LP モードを選択します。

SP 録音 : SP モードを選択します。

[ツール] メニュー

CDDB

CDDB の機能の選択をします。

情報の取得 : CDDB に接続して、音楽 CD の情報を取得します。

情報の編集 : 取得したディスク情報の編集をします。

情報の登録 : 編集した情報を CDDB に登録します。

オプション : CDDB の接続の設定を行います。

環境設定

環境設定の画面を表示します。

[ヘルプ] メニュー

ヘルプ

ヘルプを表示します。(2 ページの「ヘルプについて」を参照)

ナビ

ナビ画面を表示します。(18 ページの「ナビ画面」を参照)

WEB サイト

インターネットに接続して表示する WEB サイトを選択します。

INTERJUKE のホームページ :

INTERJUKE のホームページを表示します。

Gracenote - the # 1 Music Information Source :

CDDB を運営している Gracenote 社のホームページを表示します。

OpenMG のホームページ :

OpenMG のホームページを表示します。

Gracenote CDDB について

Gracenote CDDB コントロールのバージョン情報を表示します。

INTERJUKE について

INTERJUKE のバージョン情報を表示します。

INTERJUKE をアンインストールする

Windows XP/Windows 2000 Professional の場合

□ 管理者用のアカウント (Administrator または Administrators グループに所属しているユーザー) でログインしてから行ってください。

1 Windows XP の場合 : [スタート] ボタンから、[コントロールパネル] をクリックする
Windows 2000 Professional の場合 : [スタート] ボタンから、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 Windows XP の場合 : [プログラムの追加と削除] アイコンをクリックする *
Windows 2000 Professional の場合 : [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 [プログラムの変更と削除] をクリックする

4 [現在インストールされているプログラム] の一覧の中から、[INTERJUKE] を選び、[変更と削除] (Windows 2000 Professional の場合は [変更 / 削除]) をクリックする
INTERJUKE がアンインストールされます。

* クラシック表示ではダブルクリック、カテゴリ表示ではクリック。

Windows 98/Windows 98 Second Edition/Windows Me の場合

1 [スタート] ボタンから [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 自動的に削除できるソフトウェアの一覧の中から、[INTERJUKE] を選び、[追加と削除] をクリックする
INTERJUKE がアンインストールされます。

音楽データのバックアップ／復元 (リストア) について

本製品およびパソコンの不具合により、以下のような状況が発生する前に、音楽データのバックアップを行っておくと、その音楽データの復元が可能となります。

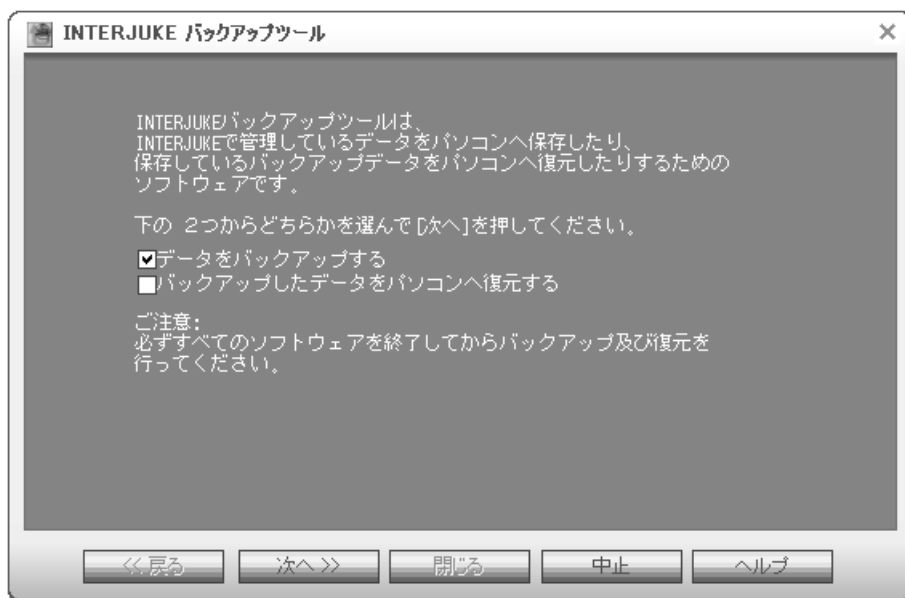
- パソコンを買い替えるとき
- OS を再インストールするとき
- OS 機能の「システム復元」などで音楽データベースが壊れたとき
- OS の異常終了などで音楽データベースが壊れたとき

INTERJUKE は著作権保護のため、音楽データを暗号化して保存しています。この暗号化された音楽データのバックアップ／復元 (リストア) を行うには、専用の「INTERJUKE バックアップツール」が必要です。

□ 復元(リストア)を行う時は、サーバーに接続して認証しますので、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

- 1 [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム*]－[INTERJUKE]－[INTERJUKEバックアップツール] をクリックして INTERJUKE バックアップツールを起動する。
INTERJUKE バックアップツール画面が表示されます。

* Windows XP 以外では、[プログラム]です。



ご参考

- 2 [データをバックアップする] または [バックアップしたデータをパソコンへ復元する] のどちらかにチェックつけて、[次へ >>] をクリックする

以降は画面の表示に従って進めてください。

□ INTERJUKE およびパソコンの不具合等により、録音やダウンロードができなかった場合や、音楽データが破損または消去された場合などの、データ内容の補償についてはご容赦ください。

用語解説

□ ここに挙げた用語以外の用語の解説は、ヘルプをご覧ください。(2 ページの「ヘルプについて」を参照)

ATRAC3

Adaptive Transform Acoustic Coding 3 の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データを音楽 CD の約 1/10 に圧縮できるため、データサイズを小さく抑えることが可能となります。

CDDB

インターネット上のサーバーに作られた音楽 CD のデータベースサービスの 1 つで、Gracenote 社が運営しています。インターネットに接続できる環境で利用できます。ユーザーが登録した情報を基に作られており、利用するには別途 CDDB のユーザー登録をする必要があります。(他社の Jukebox ソフト等で既にユーザー登録をしている場合は、新たに登録をする必要はありません。)

MP3

Motion Picture Experts Group 1 (MPEG-1) Audio Layer 3 の略で、ISO(国際標準化機構)で定められた音声圧縮の規格です。音声データを音楽 CD の約 1/10 に圧縮でき、1 枚の CD-R または CD-RW に音楽 CD10 枚分のデータを収めることが可能です。

Net MD

USB (Universal Serial Bus) を用いて、パソコンから MD へ音楽データを高速転送する規格です。高度な著作権保護技術を採用することにより、著作権を侵害することなく、Net MD 対応の音楽配信サービスを利用したり、パソコンから音楽データを MD 機器に高速転送することが可能です。Net MD で記録された MD は、既存の MD 機器で演奏することが可能です。

OpenMG

パソコン上で音楽ファイルを扱うときに使われる著作権保護技術です。INTERJUKE のように OpenMG 対応のソフトウェアで、音楽データをパソコンに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しめます。また、インターネットなどへの不正な配信も防ぐことが可能となります。

SDMI

Secure Digital Music Initiative の略で、全世界共通のデジタル音楽の著作権保護技術確立を目的に、音楽業界やコンピュータ業界、各種関連の企業や団体が集まり、構成したフォーラムです。音楽ファイルの違法な使用の阻止や、適正な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。OpenMG は SDMI の規格に準拠しています。

USB

Universal Serial Bus の略で、キーボードやマウスなど様々な周辺機器を接続する共通のインターフェース規格です。パソコンの電源が入ったままでも周辺機器の接続の抜き差しが可能であることが特徴です。

WAV

Windows 標準の音声ファイルの形式で、Windows の起動音やエラー警告音なども、このファイル形式で保存されています。音声信号をデジタルデータに変換したものを記録するための保存形式などを規定しています。圧縮方式については規定しておらず、任意のものを利用することができます。「CODEC」(コーデック：データを圧縮・伸張するソフトウェアのこと)と呼ばれるソフトウェアを追加することにより、ATRAC3、MP3 など様々な圧縮方式を利用することができます。

インポート

インターネットによる音楽配信サービスなどを利用してパソコンに録音した音楽ファイルを、INTERJUKE に取り込むことを「インポート」と言います。INTERJUKE では、MP3、WAV、OMG (OpenMG) の各形式の音楽ファイルをインポートすることができます。

チェックイン/チェックアウト

パソコン上で、OpenMG 対応のソフトウェアで管理している音楽ファイルを、外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽ファイルを元のパソコンに戻すことを「チェックイン」と言います。チェックアウトしたファイルを他のパソコンにチェックインすることはできません。チェックアウトは、音楽 CD から録音した場合は 3 回まで行えます。1 度チェックアウトしたファイルをチェックインした後、再びチェックアウトすることも可能です。

索引

A

ATrac3.....2, 19, 38

C

CDDb 2, 38

H

HCMS5

M

MP3.....21, 24, 28, 38

N

Net MD..... 2, 38

O

OMG (OpenMG).....2, 24, 28

OpenMG..... 2, 4, 5, 19, 38

S

SCMS5

SDMI38

U

USB..... 4, 6, 31, 38

W

WAV21, 24, 28, 38

Windows..... 6, 7, 36

あ行

アンインストール..... 36

インストール..... 6, 7

インターネット.....5, 17, 21

インポート4, 14, 21, 38

音楽 CD.....4, 13, 19, 22, 25, 27

音楽ファイル..... 4, 14, 21, 25, 26, 27, 28

か行

起動 10

コンポントロール.....4, 16, 29

さ行

システム構成.....6

制限事項5

た行

チェックアウト.....4, 5, 20, 27, 38

チェックイン.....4, 5, 27, 28, 38

著作権5, 37, 38

な行

ナビ 10, 18, 32

は行

バックアップ／リストア (復元)..... 37

ビットレート.....19, 28

プレイリスト..... 4, 12, 19, 22, 24

プログラム録音..... 30

ヘルプ2

ま行

メニュー11, 34

ら行

録音 4, 5, 19, 30

日本ビクター株式会社

AV & マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12